

第2章 調査結果の概要

I 調査結果の概要

平成29年度「第7期台東区高齢者保健福祉計画・台東区介護保険事業計画」策定に向け、高齢者の実態調査を行った。回収率は、一般高齢者調査（一般調査）74.3%、台東区日常生活圏域ニーズ調査（ニーズ調査）73.6%、要支援・要介護認定者調査（認定者調査）64.1%、介護サービス事業者調査（事業者調査）80.7%となっている。

1 台東区の状況

平成28年1月1日現在、台東区の総人口191,749人、65歳以上の高齢者人口45,519人となっている。総人口、高齢者人口ともに増加しているため、高齢化率は23.7%で前年とほぼ同じ値となり、23区中4番目となっている。

台東区の日常生活圏域別でみると、北部圏域は高齢者人口28,228人、高齢化率25.2%、南部圏域は高齢者人口17,291人、高齢化率21.6%となっている。

2 主な共通項目の比較

一般調査、ニーズ調査、認定者調査の各調査において、同じ質問をしているものを共通項目として比較し、テーマ別にまとめた。

調査票の回答者は、一般調査及びニーズ調査では、「本人」の回答は約9割、認定者調査は、約4割となっている。

（1）家族構成と住まいの状況

「ひとり暮らし」は、一般調査、ニーズ調査、認定者調査ともに約3割となっている。

日中独居の状況は、「一人で過ごすことはあまりない」は、一般調査は約5割、認定者調査は約4割となっている。「昼夜とも一人で過ごすことが多い」は、一般調査は約2割、認定者調査は約3割となっている。

「災害時に一人で避難することができる」は、一般調査は約9割、認定者調査は約2割となっている。

住まいの形態は、一般調査、認定者調査ともに「持ち家（一戸建て）」が約6割、「住宅で特に困っていることがない」も約6割となっている。

（2）医療と介護保険

かかりつけ医、かかりつけ薬局は、「区内にある」が一般調査は約7割、認定者調査は約8割となり、かかりつけ歯科医は、一般調査は約7割、認定者調査は約6割となっている。

病気やけがで長期の療養が必要となり通院が困難になった場合に、在宅療養を「希望する」は、一般調査、認定者調査ともに約3割となっている。また、「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した人の理由は、「家族に負担をかけるから」が最も高くなっている。

介護保険制度について、介護保険料とサービスは、一般調査、認定者調査ともに「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が最も高くなっている。

介護保険料の額は、「かなりの負担である」「やや負担である」を合わせると、一般調査は約6割、認定者調査は約5割となっている。また、「妥当な額である」「負担には感じない」を合わせると、一般調査は約2割、認定者調査は約3割となっている。

(3) 地域との関わり・地域住民によるサービス提供

一般調査では、地域で支援を必要とする高齢者の支え手として「すでに活動している」「(活動したいと)思う」を合わせて約2割となっている。一方、「わからない」「思わない」を合わせると約7割となっている。さらに「(高齢者の支え手として)できることがある」と回答したうち、できることは「話し相手」「見守り」「買い物」といった支援が上位となっている。

認定者調査では、地域住民によるサービス提供を「利用したい」が約3割で、利用したいものは、「部屋の掃除、風呂の掃除」「買い物」「通院の付添・介助」が上位となっている。

(4) 認知症と成年後見制度

認知症になった(かもしれない)ときに、認知症について家族以外に相談する意向は、一般調査、認定者調査ともに「相談したい」が6割を超え、相談先としては、「かかりつけ医、近所の医院」が最も高くなっている。

認知症に「関心がある」は、一般調査、認定者調査ともに約8割で、そのうち関心があることは、「予防に効果的な方法」が最も高くなっている。

成年後見制度の認知度は、「知っている」が一般調査は約5割、認定者調査は約4割で、「利用したい」がともに約2割となっている。

(5) 区の高齢者福祉施策

区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、一般調査、認定者調査ともに、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」「介護している家族の負担の軽減」が上位となっている。

3 その他のテーマ別にみた調査結果

(1) 健康状態

健康状態について、一般調査では、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると約8割、ニーズ調査では、「とてもよい」「まあよい」を合わせると約7割となっている。

(2) 社会参加と地域活動

一般調査では、1年間に行った地域活動等について、「参加した」が約5割で、活動内容は、「趣味や教養活動」「健康づくり・スポーツ活動」「町会・自治会、老人クラブなどの活動」が各々約2割となっている。

ニーズ調査では、地域の活動で参加している会・グループ等は、「趣味関係のグループ」が約3割、「スポーツ関係のグループやクラブ」が約2割となっている。地域活動への参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると約6割となっている。また、地域活動の企画・運営としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると約3割となっている。

(3) 就労状況

一般調査では、「仕事をしている」が約4割となっており、年齢別では、「仕事をしている」が65～69歳は約6割、70～74歳は約5割となっている。また今後の就労意向は、「会社に勤務したい」「家業(自営業)や家業の手伝いをしたい」「シルバー人材センターを通じた仕事をしたい」「その他」を合わせると約5割となり、年齢別にみると高齢になるにつれて、仕事をしたい割合は少なくなるが、85歳以上も「仕事をしたい」が約2割となっている。

(4) 生活状況

一般調査では、ふだんの食事の用意は「自分が調理」が約5割となっている。家族等との会話は「毎日」が全体では約8割となっているが、ひとり暮らしでは約4割となっている。1週間の外出の頻度は「ほぼ毎日」が約5割で、65～74歳では約6割、80歳以上は約4割となっている。

また、ニーズ調査では、「自分で食品・日用品の買い物をする」は約9割、「週5回以上外出している」は約5割となっている。

(5) 介護予防

一般調査では、介護が必要にならないために「心がけていることがある」は約9割で、そのうち「1日3食食べる、栄養バランスに気をつけている」が最も高く、次いで「散歩や体操など定期的に身体を動かす」、「かかりつけ医に定期的に診てもらおう」の順となっている。

介護予防教室に「参加してみたい」は約6割で、そのうち参加してみたい教室は「運動機能向上」「膝痛や腰痛の対策・予防」「認知症予防やうつ予防」が上位となっている。

(6) 介護保険サービスの利用状況・利用意向

認定者調査では、介護保険サービスの利用状況は「利用している」が約8割、利用している人のケアプランの満足度は「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると約8割となっている。

また、利用していない人の理由では「自分で何とか生活できるため」が約5割、次いで「家族が介護してくれるため」となっている。

今後希望する暮らし方では「介護サービス利用で自宅」が約4割で、「家族介護で自宅」の2割を合わせると「自宅」での介護を希望する人が約6割となっている。

介護者が望む介護の形態では、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」「自宅で主に介護保険サービスを利用する」「自宅で家族や親族が介護する」を合わせると「自宅」を望む人が約5割となっている。

介護者が望む支援やサービスでは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が約3割で最も高く、次いで「介護に関する相談支援の充実」「経済的支援の充実」となっている。

(7) 介護者の状況

認定者調査では、介護してくれる家族の有無は「いる」が約7割、「家族はいるが、介護してもらっていない」「家族はいない」を合わせると約3割、主な介護者の約5割は65歳以上で、健康状態は「健康」「持病はあるがおおむね健康」を合わせると約7割となっている。

就労状況では、仕事が「あり」は約5割となっている。そのうち、介護者の働き方の調整は、「特に行っていない」が約3割となっている。一方、労働時間、休暇取得、在宅勤務など、「働き方の調整をしている」は約5割となっている。

介護のために「仕事を辞めた」「転職した」人は約1割で、離職した理由は「仕事と介護の両立が難しいから」が最も高くなっている。一方、「仕事を辞めた家族・親族はいない」は4割となっている。

介護保険サービス利用による介護者の負担は、「大いに負担が軽くなっている」「多少は負担が軽くなっている」を合わせると約6割となっている。

II 共通調査項目

「n」は各設問に該当する回答者の総数（人）であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

一般高齢者調査、台東区日常生活圏域ニーズ調査、要支援・要介護認定者調査で設問が同じである主要な結果を抜粋し、比較を行った。各 2,000 人を対象に調査を行い、一般高齢者調査 1,476 人、台東区日常生活圏域ニーズ調査 1,468 人、要支援・要介護認定者調査 1,243 人から有効回答を得られた。

本章において掲載されている『一般調査』の結果は第3章に、『ニーズ調査』の結果は第4章に、『認定者調査』の結果は第5章に再掲している。

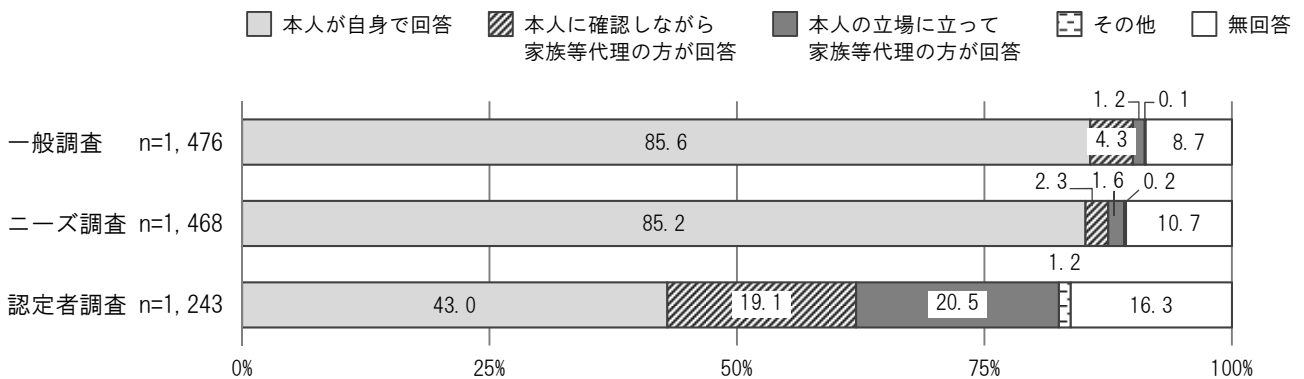
1 回答者の属性

(1) 調査票の回答者

〔一般調査（問1）、ニーズ調査（問1）、認定者調査（問1）〕

▶ 調査票の回答者は、「本人が自身で回答」が『一般調査』85.6%、『ニーズ調査』85.2%、『認定者調査』43.0%

図表 2-1 調査票の回答者

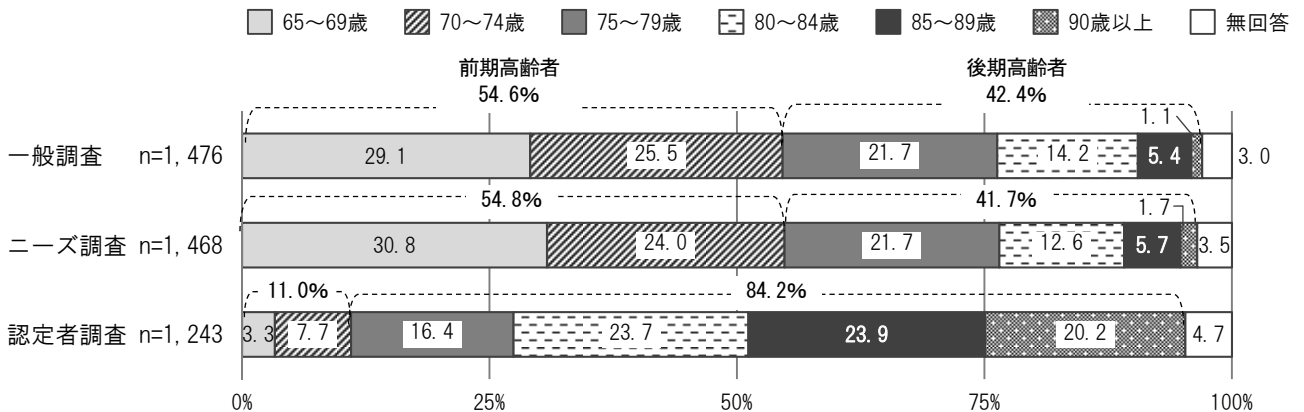


(2) 年齢

〔一般調査（問2）、ニーズ調査（問2）、認定者調査（問2）〕

▶ 回答者の年齢は、前期高齢者が『一般調査』54.6%、『ニーズ調査』54.8%、後期高齢者が『認定者調査』84.2%

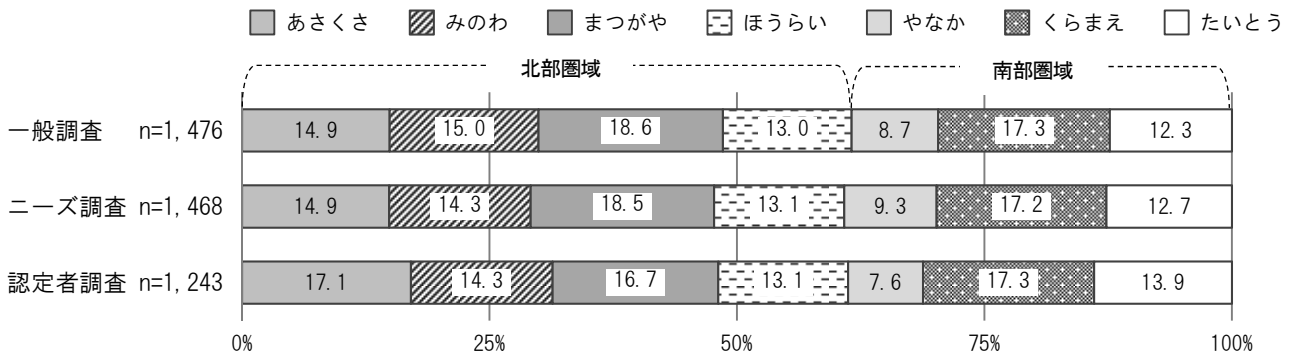
図表 2-2 年齢



(3) 居住地区

[一般調査、ニーズ調査、認定者調査]

図表 2-3 地域包括支援センター区域

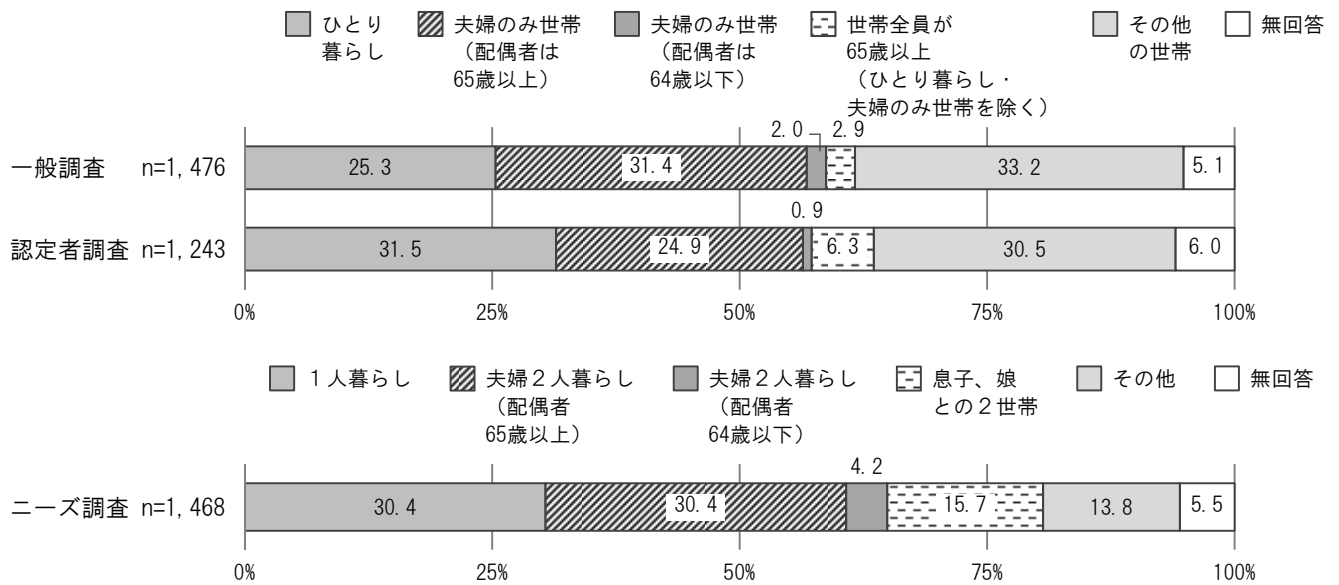


(4) 家族構成

[一般調査(問4)、認定者調査(問4)、ニーズ調査(問4)]

▶ 家族構成は、「ひとり暮らし」が『一般調査』は25.3%、『認定者調査』は31.5%、『ニーズ調査』は30.4%

図表 2-4 家族構成

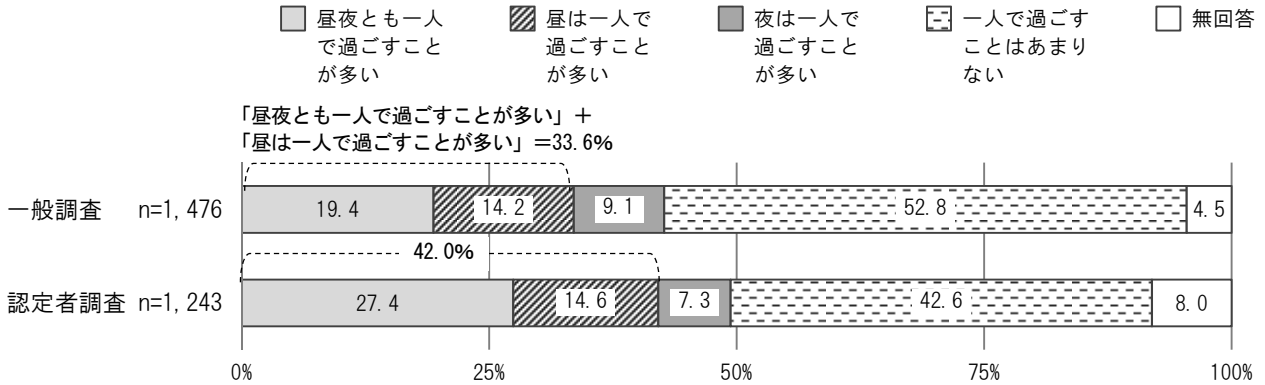


(5) 日中独居の状況

〔一般調査（問5）、認定者調査（問7）〕

▶ 日中独居の状況は、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」「昼は一人で過ごすことが多い」を合わせると『一般調査』が33.6%、『認定者調査』が42.0%

図表 2-5 日中独居の状況

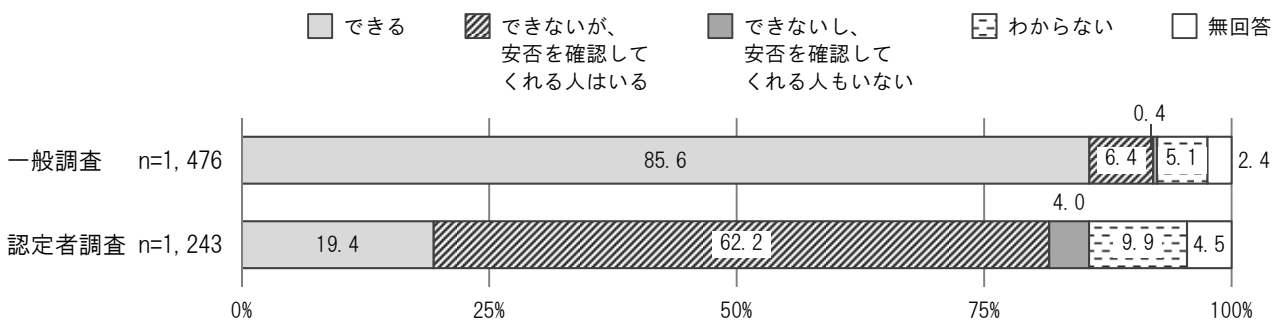


(6) 災害時（台風や地震等）や火災などの緊急時に一人で避難すること

〔一般調査（問7）、認定者調査（問9）〕

▶ 緊急時に一人で避難できるのは、『一般調査』が85.6%、『認定者調査』は19.4%

図表 2-6 災害時に一人で避難すること



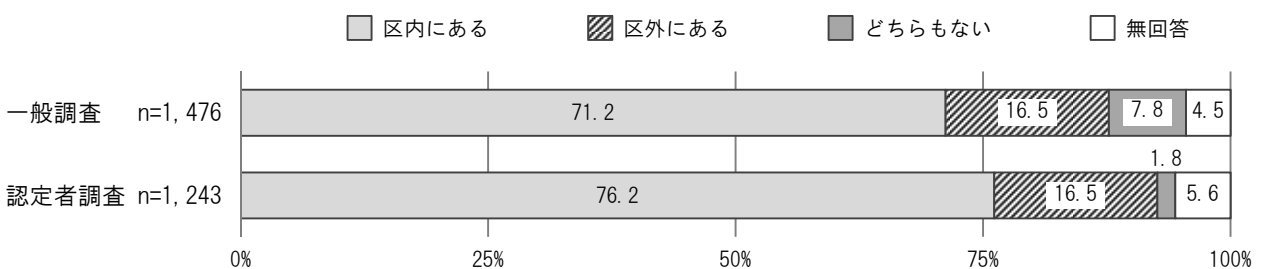
2 かかりつけ医等について

(1) かかりつけ医の有無

〔一般調査（問12①）、認定者調査（問15①）〕

▶ かかりつけ医が区内にあるのは、『一般調査』が71.2%、『認定者調査』は76.2%

図表 2-7 かかりつけ医の有無

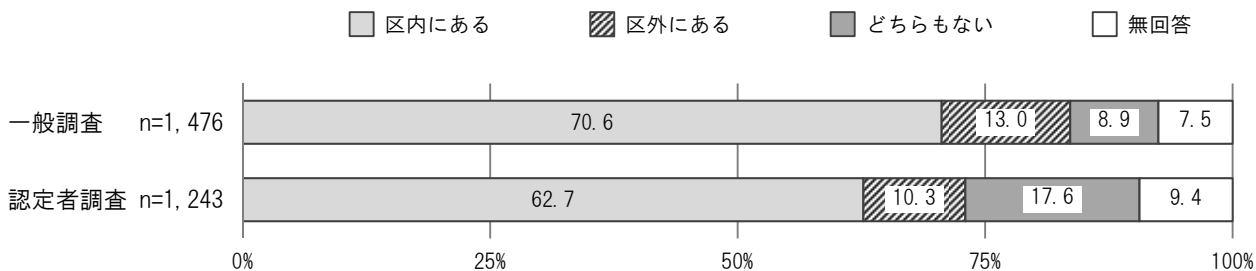


(2) かかりつけ歯科医の有無

[一般調査 (問 12②)、認定者調査 (問 15②)]

▶ かかりつけ歯科医が区内にあるのは、『一般調査』が 70.6%、『認定者調査』は 62.7%

図表 2-8 かかりつけ歯科医の有無

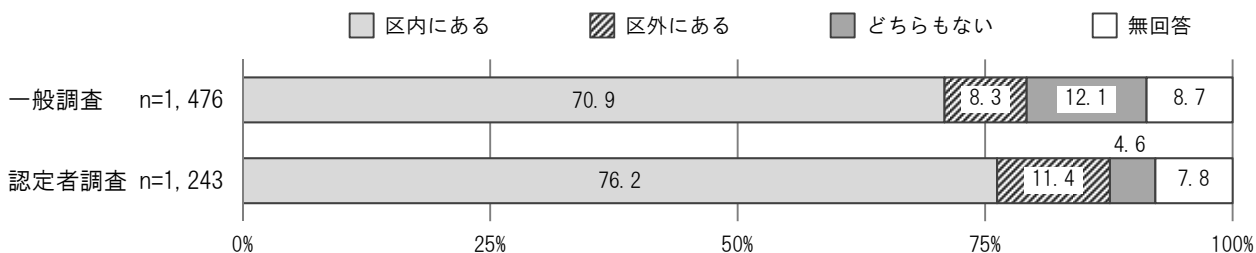


(3) かかりつけ薬局の有無

[一般調査 (問 12③)、認定者調査 (問 15③)]

▶ かかりつけ薬局が区内にあるのは、『一般調査』が 70.9%、『認定者調査』は 76.2%

図表 2-9 かかりつけ薬局の有無



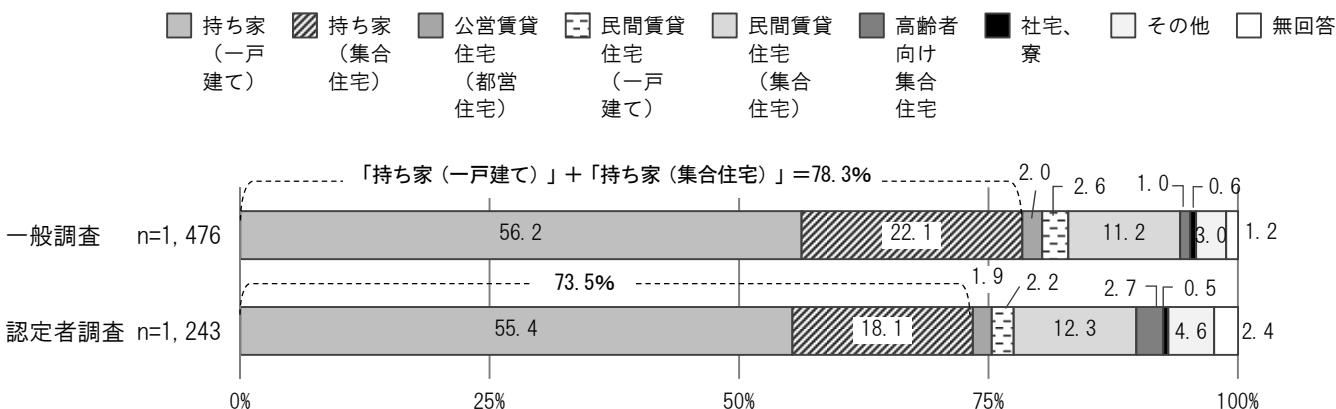
3 住まいについて

(1) 住まいの形態

[一般調査 (問 13)、認定者調査 (問 16)]

▶ 住まいの形態は、『一般調査』では「持ち家（一戸建て）」が 56.2%、「持ち家（集合住宅）」は 22.1%で合わせると 78.3%、『認定者調査』では「持ち家（一戸建て）」が 55.4%、「持ち家（集合住宅）」は 18.1%で合わせると 73.5%

図表 2-10 住まいの形態

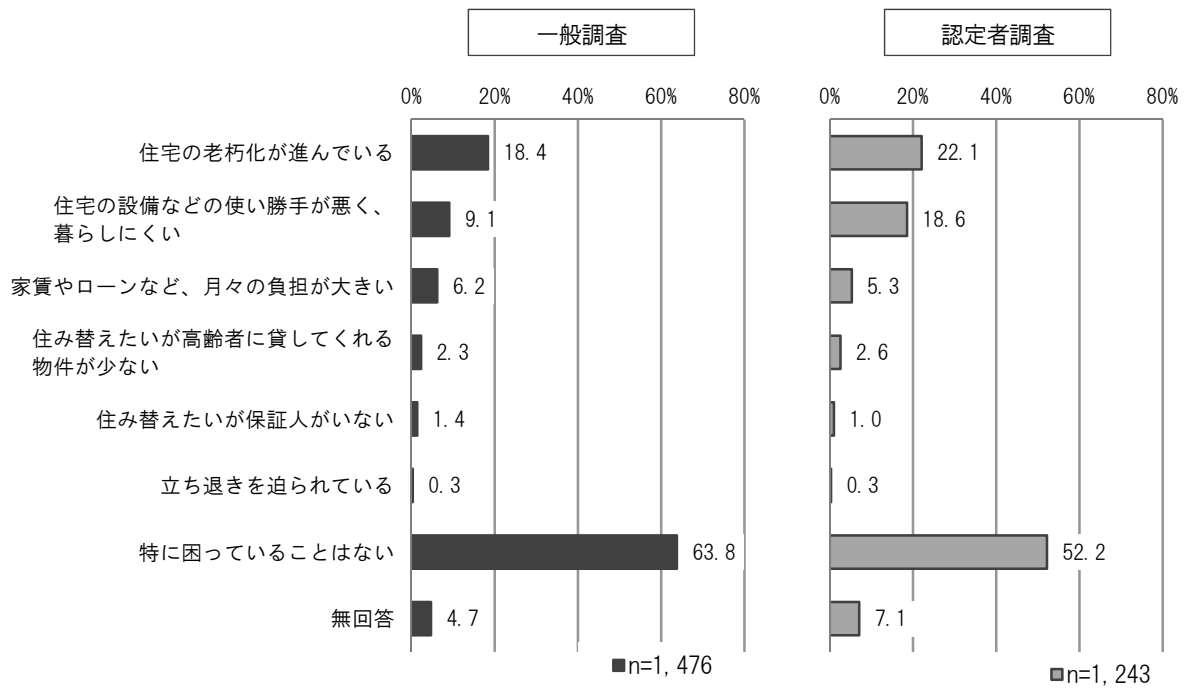


(2) 現在の住宅で困っていること

[一般調査(問14)、認定者調査(問17)]

▶住宅で「特に困っていることがない」は、『一般調査』が63.8%、『認定者調査』は52.2%

図表 2-11 住宅で困っていること(複数回答)



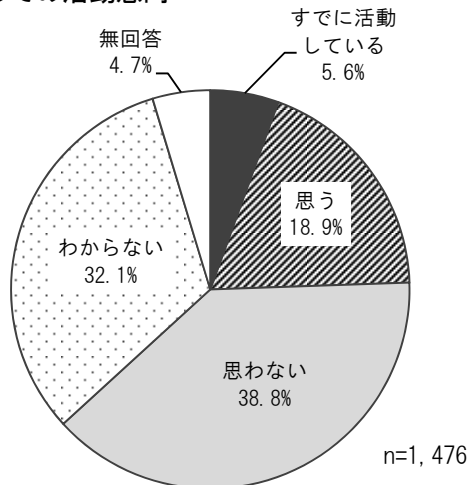
4 地域との関わり、地域住民によるサービスについて

[一般調査 (問19・20)]

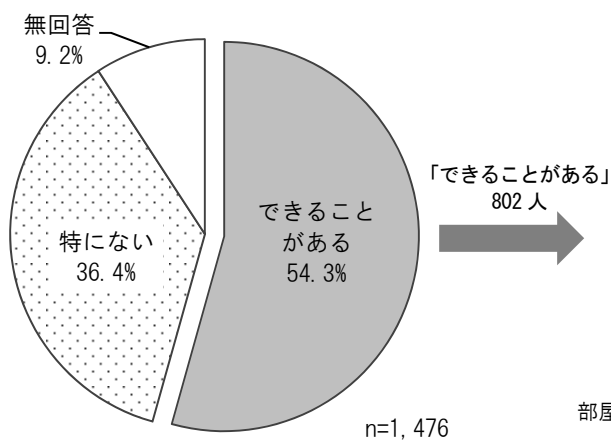
一般調査

▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手としての活動意向は、「すでに活動している」が5.6%、活動したいと「思う」は18.9%、一方、「わからない」が32.1%、「思わない」が38.8%

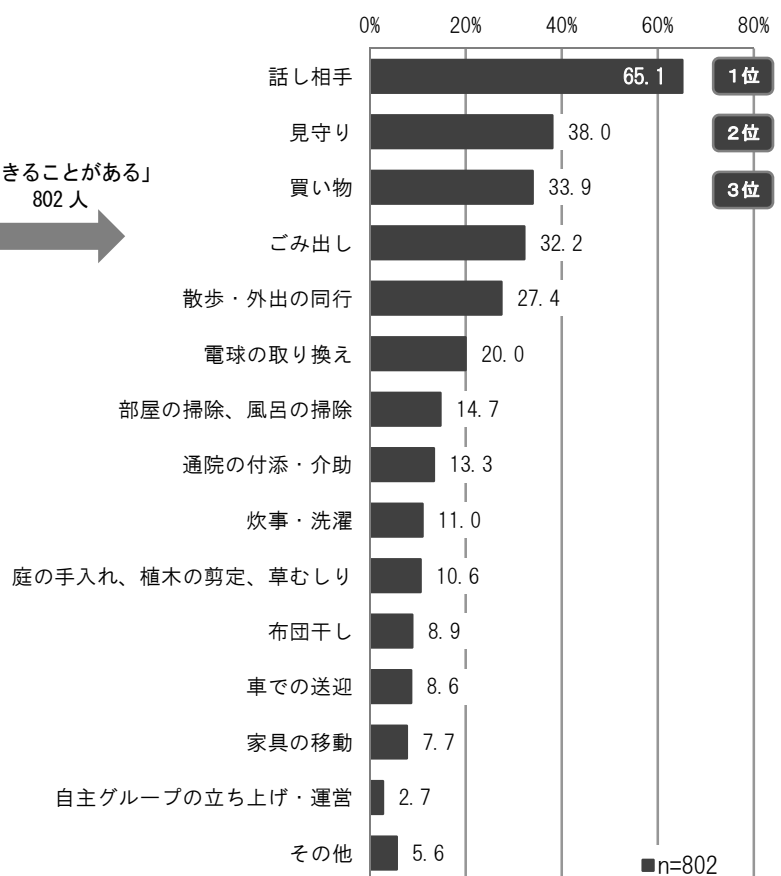
図表2-12 高齢者の支え手としての活動意向



図表2-13 高齢者の支え手としてできることがあるか



図表2-14 高齢者の支え手としてできること (複数回答)



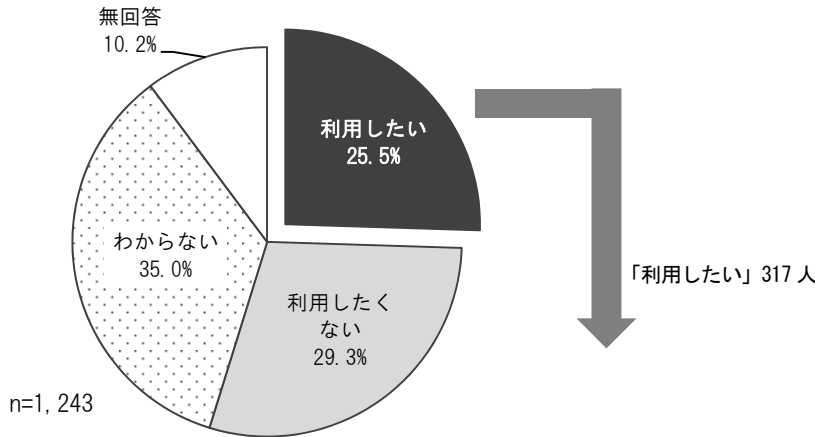
▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手として「できることがある」54.3% (802人)のうち、できることは「話し相手」が65.1%、「見守り」が38.0%、「買い物」が33.9%

[認定者調査 (問 31・31-1)]

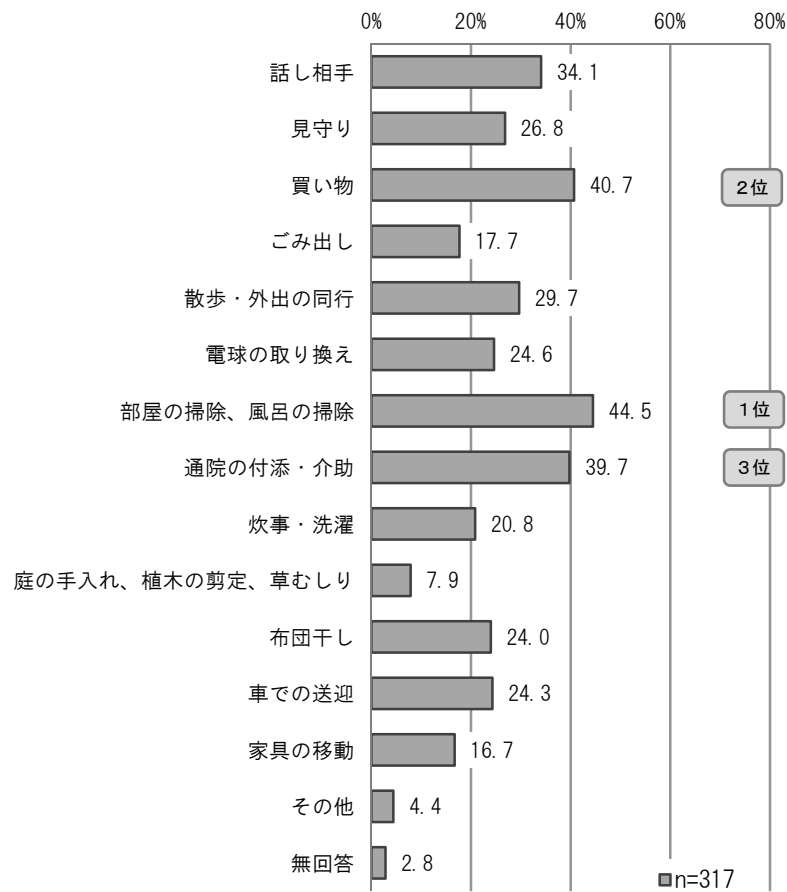
認定者調査

▶地域住民による生活援助のサービスの利用意向は、「利用したい」が25.5%

図表 2-15 地域住民による生活援助のサービスの利用意向



図表 2-16 地域住民によるサービスで利用したいもの(複数回答)



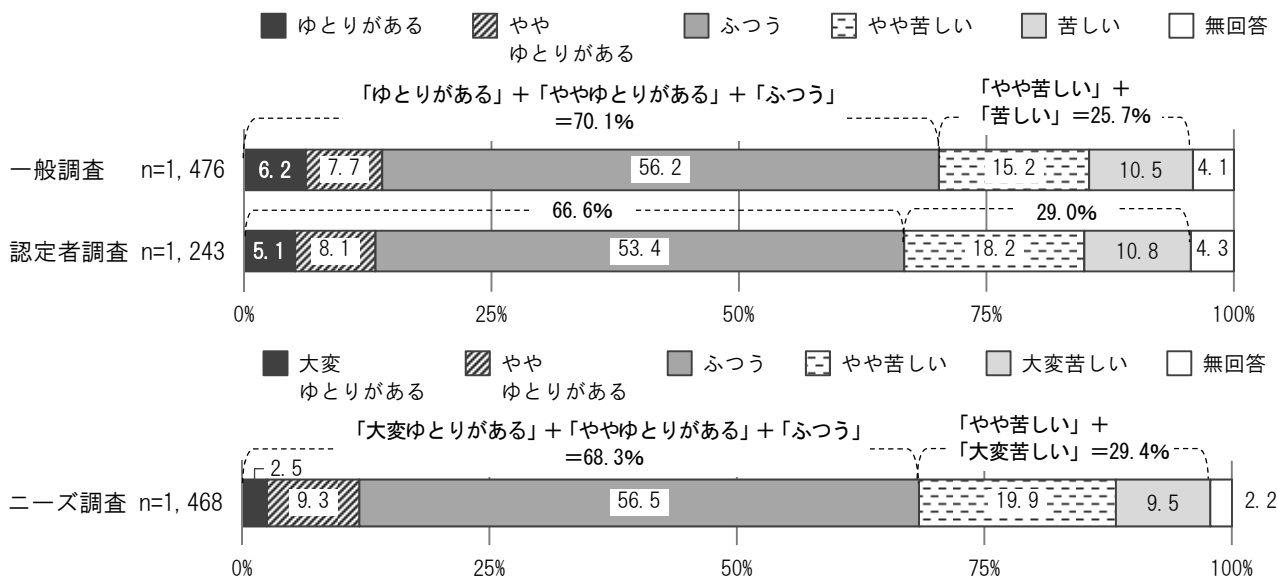
▶地域住民によるサービスを「利用したい」と回答した25.5% (317人)のうち、利用したいものは「部屋の掃除、風呂の掃除」が44.5%、「買い物」が40.7%、「通院の付添・介助」が39.7%

5 暮らし向き

[一般調査(問24)、認定者調査(問10)、ニーズ調査(問4(3))]

▶経済的にみて、現在の暮らしは、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると『一般調査』が70.1%、『認定者調査』が66.6%、『ニーズ調査』は68.3%

図表 2-17 暮らし向き



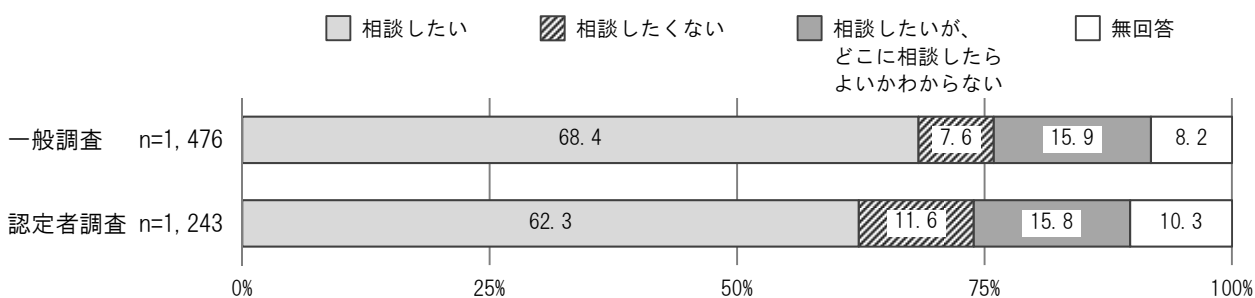
6 認知症について

(1) 認知症について家族以外に相談する意向

[一般調査(問27)、認定者調査(問22)]

▶認知症になった(かもしれない)ときに、家族以外に「相談したい」は、『一般調査』が68.4%、『認定者調査』は62.3%

図表 2-18 家族以外に相談する場合の相談先

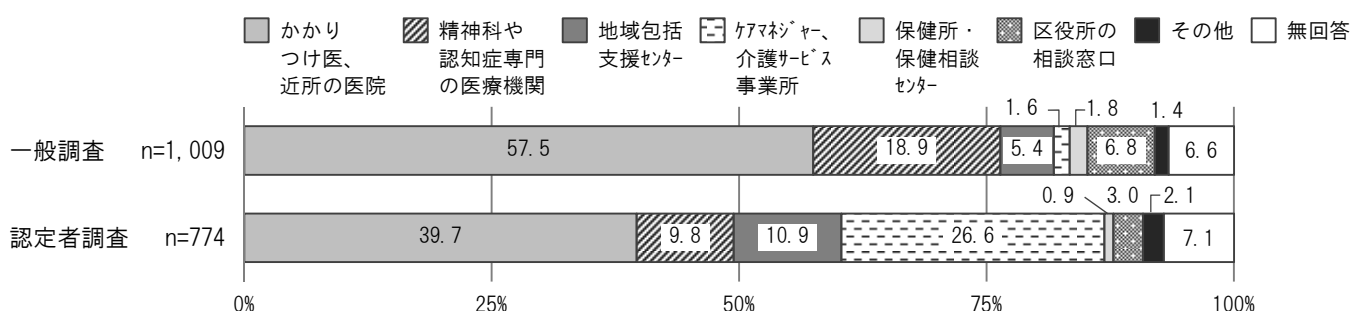


(2) 認知症について家族以外に相談する場合の相談先

[一般調査(問27-1)、認定者調査(問22-1)]

▶家族以外の相談先で「かかりつけ医、近所の医院」は、『一般調査』が57.5%、『認定者調査』は39.7%

図表 2-19 家族以外に相談する場合の相談先

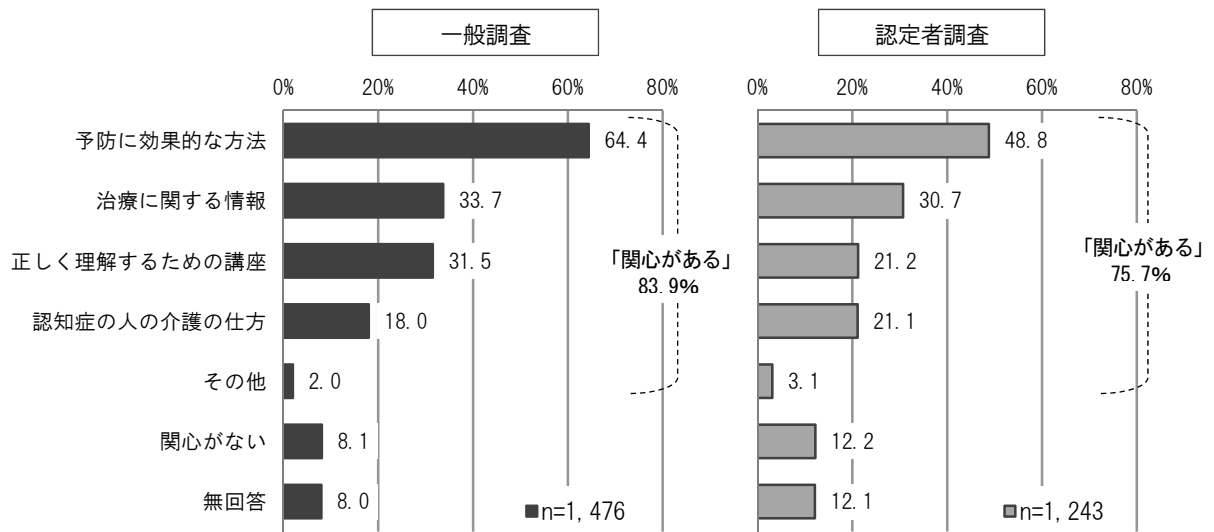


(3) 認知症のどんなことに関心があるか

〔一般調査（問28）、認定者調査（問23）〕

▶ 認知症について「関心がある」は、『一般調査』が83.9%、『認定者調査』は75.7%

図表 2-20 認知症のどんなことに関心があるか（複数回答）



※「関心がある」=100%－「関心がない」－「無回答」

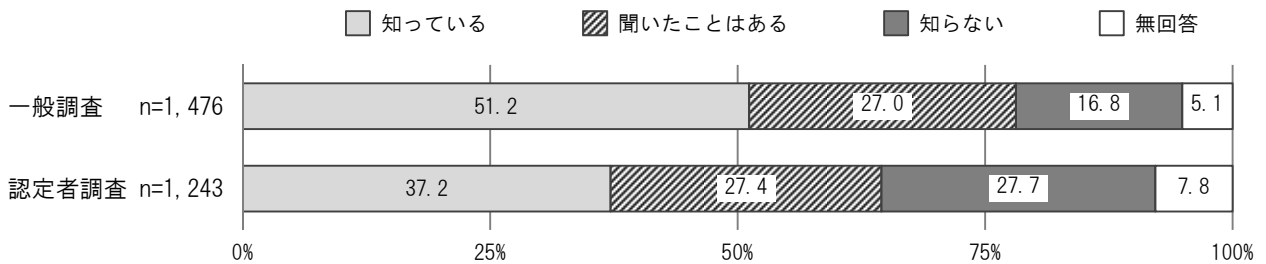
7 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知度

〔一般調査（問29）、認定者調査（問24）〕

▶ 成年後見制度について「知っている」は、『一般調査』が51.2%、『認定者調査』は37.2%

図表 2-21 成年後見制度の認知度

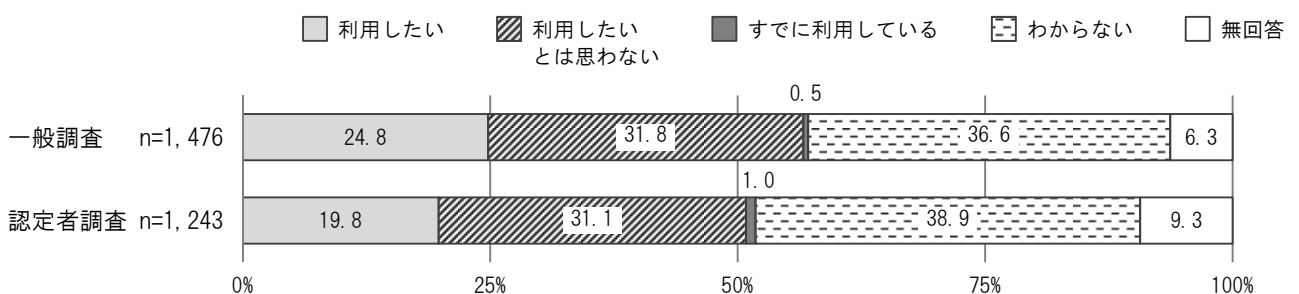


(2) 成年後見制度の利用意向

〔一般調査（問30）、認定者調査（問25）〕

▶ 認知症などにより判断能力が十分でなくなってきた場合に、成年後見制度を「利用したい」は、『一般調査』が24.8%、『認定者調査』は19.8%

図表 2-22 成年後見制度の利用意向

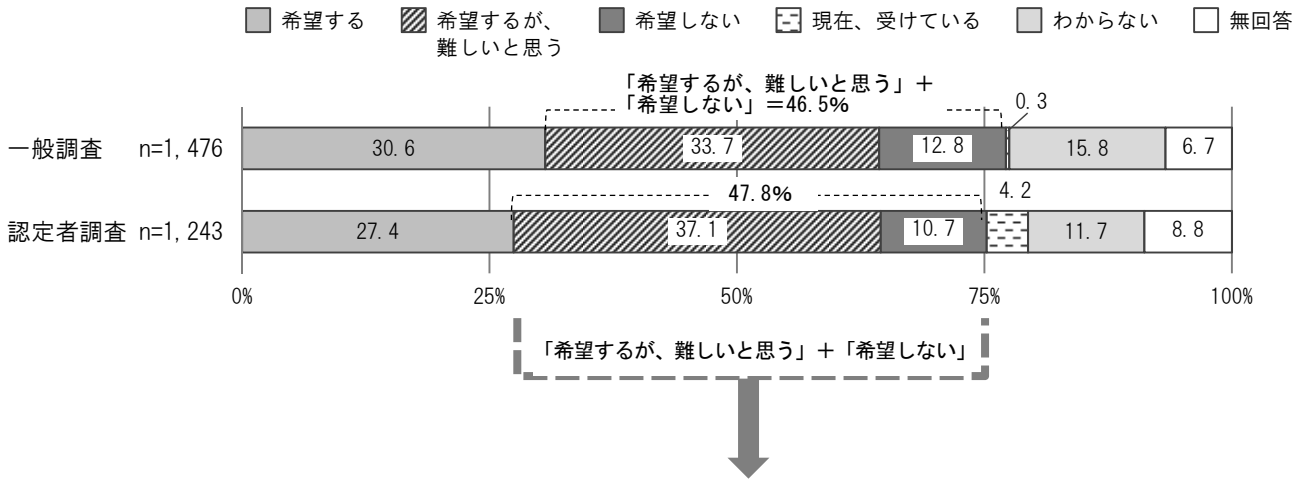


8 在宅療養について

[一般調査 (問 31・31-1)、認定者調査 (問 26・26-1)]

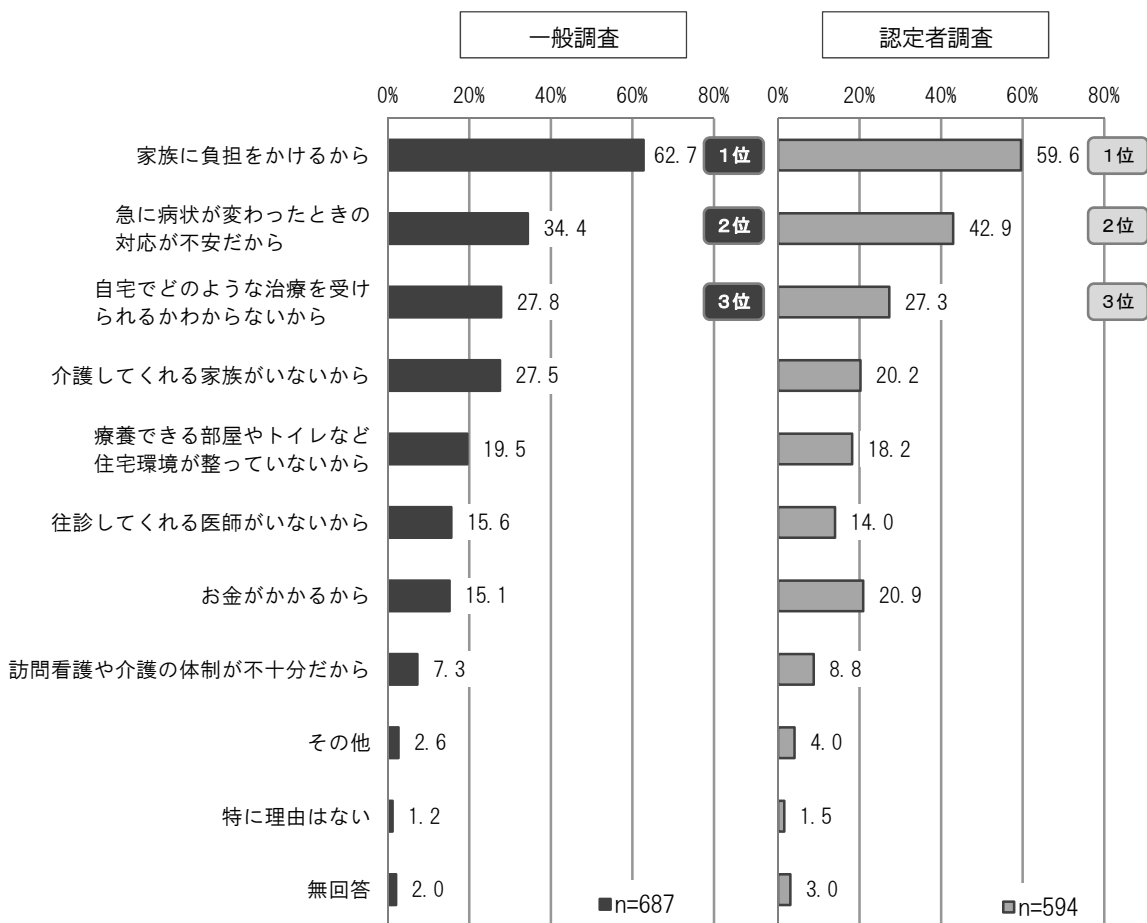
▶病气やけがで長期の療養が必要となり、通院が困難になった場合、在宅療養を「希望する」は、『一般調査』が30.6%、『認定者調査』は27.4%

図表 2-23 在宅療養の希望



▶在宅療養を「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した人のうち、その理由は「家族に負担をかけるから」が『一般調査』は62.7%、『認定者調査』は59.6%

図表 2-24 在宅療養を希望しない、または難しいと思う理由 (3つまで)



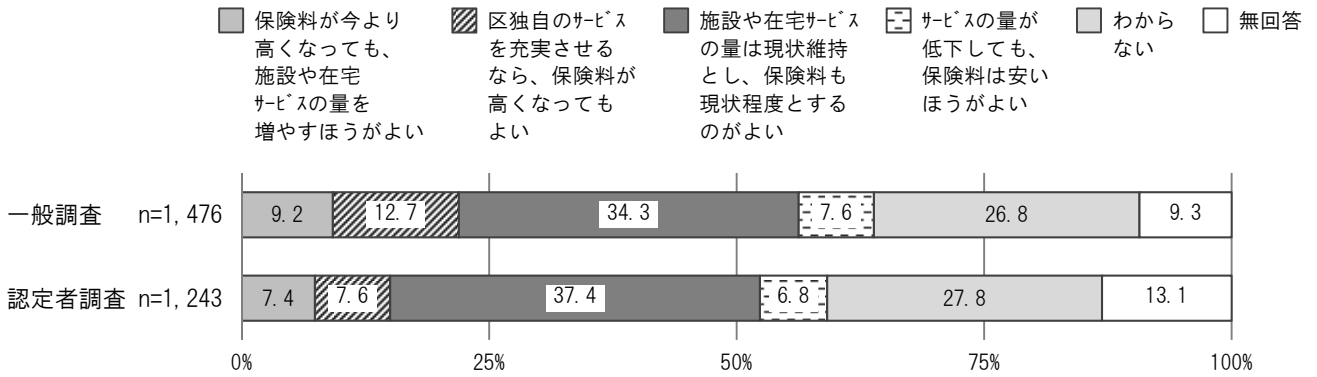
9 介護保険制度について

(1) 介護保険料とサービスについて

〔一般調査（問34）、認定者調査（問28）〕

▶介護保険料とサービスは、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が最も高く、『一般調査』が34.3%、『認定者調査』は37.4%

図表 2-25 介護保険料とサービスについて

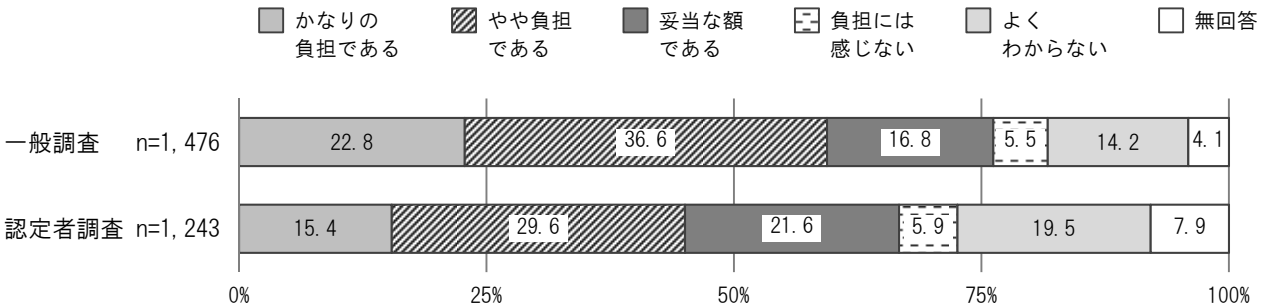


(2) 介護保険料の額について

〔一般調査（問35）、認定者調査（問29）〕

▶介護保険料の額について「やや負担である」が最も高く、『一般調査』が36.6%、『認定者調査』は29.6%

図表 2-26 介護保険料の額について

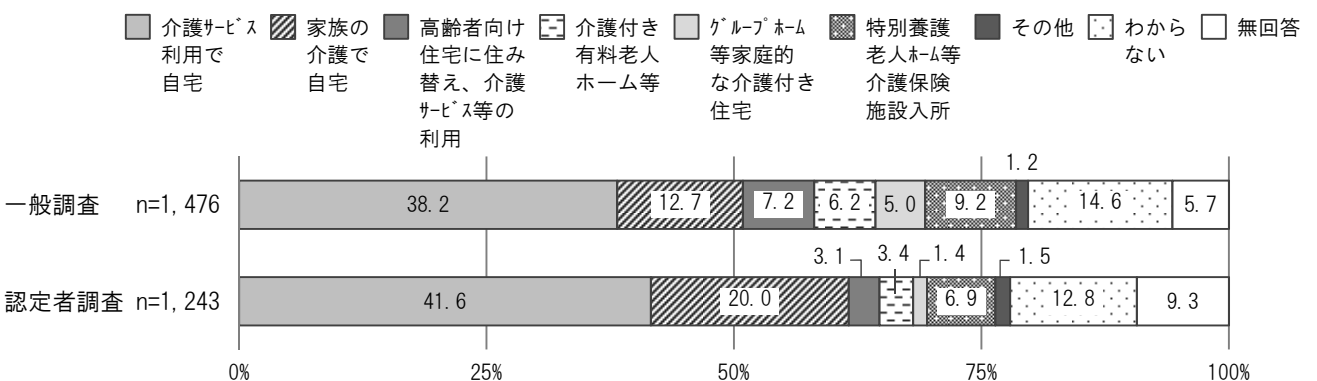


(3) 今後希望する暮らし方

〔一般調査（問36）、認定者調査（問30）〕

▶今後介護が必要となった場合、希望する暮らし方は、「介護サービス利用で自宅」が最も高く、『一般調査』が38.2%、『認定者調査』は41.6%

図表 2-27 今後希望する暮らし方



10 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策

〔一般調査（問41）、認定者調査（問32）〕

▶ 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、『一般調査』は「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」が 45.8%、『認定者調査』は「介護している家族の負担の軽減」が 35.6%

- ・一般調査、認定者調査ともに、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」「介護している家族の負担の軽減」が上位となっている。3位は、一般調査では「健康づくりや介護が必要にならないための支援」、認定者調査では「デイサービスやショートステイなどを実施する施設の充実」となっている。〔図表 2-28〕

図表 2-28 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策（複数回答）

